

	子どもの声・姿・意識	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・技能◎思考・判断・表現●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
一学期	「なにができる？」(7)			<p>○自分たちと社会との関わりや地域に出かけることを通して、地域にはすてきな場所があり、そこにはすてきな人がいることを知り、そのよさを理解している。 <③課題対応能力> [①課題を見出し、把握している]</p> <p>◎仲間と協力して話し合いながら意思決定することができる。また、行動して気が付いたことをもとに、次の活動を具体化するための振り返りや話し合いをしている。 <①人間関係形成・社会形成能力> <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる] [④学びを振り返り、次につなげている]</p> <p>○自分たちの経験を発表することを通して、相手や目的に応じた話し方を理解し、自分の思いを伝えている。 <①人間関係形成・社会形成能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる]</p> <p>●商店街をさらに振興するために考えたことをもとに、自分が得意なことを生かして関わる活動をしている。 <②自己理解・自己管理能力> [②課題解決の方法を考えている]</p> <p>●自分のやりたいことを決めて、活動の中で友達と役割を分担したり、自他の考えのよさを生かしたりしながら、やりたいことに没頭している。 <①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる]</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 協力できた！保護者に感謝してもらえた！積極的に動くことができた！作ったものを実現できた！ 最後までできなかった。目標こたどりつけなかった。もっと広めたかった。相手のことを考えられなかった。 家族に感謝を伝えたい！・伝統を生かしたい！・関わる人を明るくしたい！子どもだけでやりたい！・環境をよくしたい！米の活動を続けたい・学校や地域の人々を呼びたい どんなお店があるんだろう？どうやって発信していこう。作るのにはどうしたらいいかなあ。商店街に詳しい人にインタビューしたいなあ。お店の人はどんな思いがあるんだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の振り返りをする。 ○「社会とわたし」というテーマを考える。 ・誰か知らない大人がやっていること・下級生に対して学校のリーダーとして関わっている ・保護者との関係もそのひとつ・友達と遊ぶこと ○私たちに何ができるかを考える(目標の設定)。 ○私たちにできることをもとに、やってみたいことについて考える。 ○調べたことをまとめ、テーマを見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より具体的に思い出せるように、元のクラスで分かれて昨年度の学習で生かしたい点と課題点を挙げるようにする。 ・共に楽しむ仲間の一人であることを念頭に、児童と同じ目線で取り組み続ける。 	
二学期	「やりたいことをやってみよう！」(27)			
	<ul style="list-style-type: none"> 実際に商店街に行ってみよう。 商店街に関わっているひとの思いは何だろう。 もっと賑わうにはどうしたらいいんだろう。 清掃活動をしてみたらどうだろうか。 お店の紹介を試してみたらどうだろうか。 自分たちで広告をだしてみよう。 ポスターやリーフレットを作ってみようかな。 動画で商店街に人を集めよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街の現状を調べる ○商店街の運営に携わっている人にインタビューしたり、自分たちの考えを提案したりする。 ○商店街に関わる人たちの願いを聞き、自分たちにできることを考える。 ○自分たちで商店街に足を運び、そこで働く人のやりがいや苦勞を知る。 ○広告や宣伝に関することを調べ、チラシやリーフレットの作成をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の活動を振り返り、効率よく素早く準備できるよう環境を整える。 ・商店街の運営に関わっている人と関係をもっておく。 ・公共の場での態度や姿勢について話し、普段との違いを意識できるようにする。 ・児童のやりたいという思いに対応できるようにこちらが様々な考えを巡らせておく。 	
各教科との結びつき 国語:おすすりパンフレット・インタビュー・社会:平和で豊かな暮らし・算数:拡大図と縮図・比・理科:地球環境・道徳:随時				
三学期	「残せるものを考えよう！」(18)			
	<ul style="list-style-type: none"> これまでに関わってくれたみんなに感謝を伝えたい。 みんなを呼んで一緒に楽しみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発信方法、発信内容を再考する。 ○考えた発信方法・内容が適切かどうか発表内容を見直す。 ○学年で、お互いのまとめたものについて紹介し合う。 ○発信内容を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰に何を伝えたいのか、私たちはどうしたいのかという視点をもとに互いの情報を交換し合い、次回の活動に生かせるようにする。 	

材(商店街、魅力発信)のもつ価値

- ・商店街は児童にとって幼いころから身近な場所であり、地域とのつながりを感じることができる。
- ・たくさんの人やものがある場所なので、活動の幅が広がる。
- ・社会に自ら関わることで、自分たちの地域の魅力に気付くことができる。また、その一員である自覚をもつことができる。
- ・自分たちの良いと思っていることを様々な方法で発信することで、表現の工夫を考えることができる。
- ・3年時に地域のことを学習し、商店街の在り方について知っていることから、良さに気付くことができる。

材(商店街、魅力発信)に寄せる子どもたちの思いや願い

- ☆自分たちの慣れ親しんだ場所に関わることで面白さや喜びを感じている。
- ☆自分たちが作ったものを学校や地域の人々にも楽しんでほしいと願っている。
- ☆商店街を自分たちで盛り上げるといふ未知の活動を楽しみながら作りたい。
- ☆自分たちの地域のよさを再発見し、他の人にも気付いてほしいと願っている。
- ☆一つの目標に向かうことの成功体験が充実した学校生活につながると考えている。

★商店街を活性化させ、発信することで自慢できる地域にしたい。

- ★…子どもたちの深層にある求め(子どもたちが一番やりたいこと・願い)